



みなみの風

坂下南小学校
学校だより
NO. 107
R7. 3. 13
(文責: 校長 菅家 篤)

ドリーム & チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

卒業する6年生へ贈る言葉③「努力すれば報われる」のか

スポーツなどの勝負では、努力が報われずに、不本意な結果に終わってしまった選手やチームがたくさんあります。試合結果は、レースや試合の流れのちょっとした変化に影響されます。サッカーで言えば、優位に試合を進めていたチームがPK戦で敗れてしまうのがある例かと思います。

では、勝負に負けてしまったら、がんばったことは無駄になってしまうのでしょうか？

確かに、努力をしても報われない結果になってしまう場合があります。そういう場合の方が多いかもしれません。「一生懸命にがんばれば良いことがある」というのがひと昔前の大前提でしたが、現在の日本では、大人が子どもに対して自信をもってそう言えない状況があります。以前は「勉強すれば、良い学校に入って、良い会社に入って幸せになれるからがんばって勉強しておきなさい」と言うのが当たり前でした。

しかし今では、「良い会社への就職 = 幸せ」とは必ずしも言えません。

「がんばって勉強したことに、果たして意味があったのだろうか…」

努力したことが報われるのは、素晴らしい結果としてだけではないと思います。



がんばること自体に「意味がある」

例えば子ども時代に、何かに夢中になったり、歯をくいしばったり、という普段とは違う時間が流れる経験をするかどうか、が大事だと思います。一生懸命にがんばる、努力するという経験は、人間としての足腰が鍛えられることだと思うのです。子ども時代に、がんばったり、何かに夢中になったりする経験をしておかなくて成長してしまうと、モロい大人になってしまう気がするのです。がんばらなくてはいけない時にがんばれなかったり、どうがんばったらいいかが分からなかったり、という人間になってしまうことです。そうすると、大人になってから、すごくキツイ人生になってしまうと思うのです。就職の際に、体育会系の運動部の学生が優遇される話を聞きますが、これは、上下関係や礼儀がしっかりできているとか、スタミナがあるとかだけではないと思います。運動部はがんばって練習し、試合に臨みます。試合では「負けを知る」ことが多くあります。いっぱい練習しても補欠になってしまったり、負けてしまったり、「がんばってもうまいかない」という悔しさを味わいます。「残念だけど負けてしまった。でも次こそは！」この経験が、ちょっとしたことで折れない人間としての足腰を作っていくのでしょうか。今のうちにたくさん「負け」を知って、その悔しさと、そこから立ち直るきっかけのストックをたくさん持って・・・。

6年生のみなさんには、しぶとくタフな大人になってほしいと思います。 **ドリーム&チャレンジ!**

ハピネスなご感想、ありがとうございます！

😊 私の中で校長先生といえば、登校時に横断歩道で見守りをし、主要な行事で挨拶をされる「学校の代表」というイメージでした。菅家校長先生はそれだけでなく、子供たちとの距離が近く、お話される言葉や「みなみの風」を読むたびに心に響くものがあります。子供たちにとっても、親にとっても、菅家校長先生との出会いは、ハピネスだと思います。日々子供たちに温かく寄り添いご指導くださる先生方にも、心より感謝申し上げます。 (6年生の保護者様より)

👉 裏面に日本国憲法前文の暗唱の合格者について掲載しております！

2年生2名、6年生1名が合格！

～日本国憲法前文の暗唱チャレンジ～



昨日、2年生1名と6年生1名が見事合格しました。2年生の勢いが止まりません。チャレンジ精神に驚くばかりです。また、卒業式が来週に迫る中、暗唱チャレンジをやり切って卒業しようという6年生の意気込みも強く感じます。

暗唱にチャレンジできるのもあと4日です。最後の最後まで、**がんばれ、6年生！！**



【合格した2年生】

【合格した6年生】

応援する仲間の姿も素晴らしい！

2年生も6年生も、暗唱にチャレンジする友達を見守り、応援し、合格を喜び合う仲間の姿が常にあります。「ドリーム&チャレンジ！ ～なかまとじぶん～」のいい風景です！



2年生の仲間と自分

合格の瞬間、
喜び合う仲間の姿



6年生の仲間と自分

暗唱にチャレンジする
友達を見守る仲間の姿